

2017.12.26

会員の皆様、こんにちは。

今年一年は皆さんにとってどんな年でしたか？

世界の産業では、昨年 Google、Facebook、Apple などのテクノロジー企業が AI を利用した商品を次々に発表したのを皮切りに、今年は医療、金融など様々な業界での AI 導入・活用ための技術開発が飛躍的に進みました。

本日のテーマは、『SNS の「つぶやき」から経済指標算出が可能に』がテーマです。ツイッターでの何気ないつぶやきが、経済指標につながるまで技術がすすんでいます。是非ご一読ください。

石田まさひろ政策研究会

SNS の「つぶやき」から経済指標算出が可能に

■ SNS の情報の使い道

経済産業省と野村證券は、Twitter などの SNS のつぶやきの内容を AI 技術によって収集・解析し、景況感や鉱工業生産指数を予測するシステムを開発した。

開発は経済産業省の平成 28 年度「IoT を活用した新ビジネス創出推進事業（ビッグデータを活用した新指標開発事業）」の一環として行われ、算出された指数はビッグデータ・AI を活用した新指標に関する意見募集サイト「BigData-STATS」で毎週試験

的に公表されている。

(<https://bigdata-statistics.meti.go.jp/>)

■ SNS を使った初の経済指標

経済産業省では、様々な統計調査を行っているが、SNS に基づいた経済指標をつくるのは初めての試みである。

指標は、「AI 景況感指数」と「AI 鉱工業生産予測指数」の 2 種類で、そのうちの「SNS×AI 景況感指数」では Twitter から景況感に関するつぶやきを収集し、指数化した。もう一方の、「SNS×AI 鉱工業生産予測指数」は、SNS 上の「仕事量」に関する書き込み数を基にした、鉱工業生産指数の予測値である。

■ 膨大すぎる「みんなの意見」

SNS 上には様々な人の生の声が多数含まれているため、これらを集めて政策や意思決定に用いることには大きな意味がある。

ビッグデータ・AI を活用した新指標



